



南小だより

<http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogenminami-s/>

〈教育目標〉

みんな なかよし

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

夢もて 汗もて 涙もて

§ クロスカントリースキーとの出会い

私は、新採用2校目のときに東頸城郡松代町（現十日町市）の小学校に勤務しました。

松代町は、町営のスキー場や5kmのクロスカントリーコースを有するスキーが盛んな町でした。学校のスキー部の活動も盛んで、私は小学校の体育主任として、クロスカントリースキーを担当することになりました。

§ 信越学童親善スキー大会

当時も今と同じように、上越地域や長野県北部のスキーをする小学校の最終目標は、毎年2月中旬に妙高高原で開催される信越学童親善スキー大会です。

陸上大会が終わる10月中旬から、スキー部の練習を始めました。ローラースキーでの練習。まだ雪のない野原のスキー場でストックを突きながら駆け上がる練習。雨が降って外に出られないときには、スリッパを履いて学校の廊下を滑らせたこともありました。

どこかで雪が降ったと聞けば、子どもたちを車に乗せて、雪を求めて練習しました。町にも雪が積もり始めると、雪上車で巨大なカッターを引いて、コースを作りました。



練習には「砂糖湯」（やかんでお湯を沸かし、その中に砂糖を入れて甘くしたもの）が欠かせません。練習前に職員室で砂糖湯を作り、子どもたちの水筒に入れて持たせました。練習の合間に砂糖湯を飲むと、また元気が出て滑れるという魔法の飲み物でした。

子どもたちはスキーの練習をがんばり、大人は大人のできることをがんばりながら、練習や大会を重ね、「信越学童」を目指したのです。

§ 心臓破りの上り坂

当時の「信越学童」は、男子は5km、女子は3kmの距離で競技が行われました。

ゴールの手前には、見上げるほどの急で長い上り坂が待っていました。スタートから何kmも走ってきた子どもたちにとっては、とても辛い上り坂です。上り坂の手前は長い真っ直ぐな下り坂になっていて、低い姿勢で加速を付けた子どもたちは、次々と最後の上り坂に挑んでいきます。

子どもたちはスキー板をハの字にして駆け上がります。そばにいと「ハアッ、ハアッ」という大きな息づかいが聞こえます。

応援に来ているたくさんの保護者や関係者も、この最後の上り坂の両脇に幾重にも並び、子どもたちを応援します。学校の区別なくどの子にも「休むな！」「がんばれ！」「イチ、ニッ！イチ、ニッ！」と声を掛けます。大人の応援で、子どもたちを登らせているのです。応援する大人たちも、子どもたちの苦しさがかかるのでしょう。声を枯らし、涙ながらの応援です。

§ 止まらない涙

その上り坂の上の方で、自分の学校の子どもを確認したら、ゴールまで先回りして、走り終えた子どもを迎えることが私の役割でした。

私の学校の男子選手Aさんが、ゴールに滑り込んだときの事です。Aさんはゴールを過ぎたところで倒れ込みました。私は、すぐに駆け寄り、Aさんのスキーを外しました。Aさんの背中からはモワモワと湯気が出ています。顔は真っ赤でした。目も真っ赤でした。泣いていました。2本の鼻水が口のところまで流れていました。鼻水を拭くことも考えずに、夢中で走ってきたことが分かりました。

私は、Aさんの姿を見て、ずっところえていた涙を止めることができなくなりました。「よくがんばった。よくがんばった。」と声にならない声をかけていました。

〈特集〉 人権教育強調週間の取組を紹介

【目的】

子どもたちの人権尊重の精神の涵養と教職員の指導力向上を図ることを目指しました。

【期間】 令和元年12月4日（水）～19日（木）

【学年での取組】

12月5日（木）5限に、全学年で同和問題をはじめとした人権課題を題材とした授業を行いました。また、保護者の皆様からも子どもたちの学習の様子を参観していただきました。



1年生の学習の様子

さらに、妙高市人権擁護委員よりご紹介いただいた「CAPじょうえつ」の方々からお越しいただき、5、6年生を対象とした「子どもワークショップ」、保護者を対象とした「大人ワークショップ保護者プログラム」、教職員を対象とした「教職員プログラム」も併せて開催しました。

子どもたちには「安心」「自信」「自由」という大切な権利があること、その権利を守るためには、どうすればよいかについて、役割演技等を交えて分かりやすく教えていただきました。



「CAPじょうえつ」によるワークショップ（5年生）

【全校での取組】

南っ子タイムを利用して、全校で人権教育の学習会を5回ほど行いました。

人権についての正しい理解からスタートし、身の回りにある人権に関わる問題に気付いたり、自

分ができることを考えたりしました。どの回でも、全校の子どもたちが真剣に話を聞き、考え、学ぶ姿がとても印象的でした。



人権についての学習をする子どもたち

また、同じ時期に「休み時間の体育館の使い方」で困っている」という声を生活イベント委員会が取り上げ、各学級で話し合い、代表委員会で体育館の使い方の新しいルールを決めました。子どもたちの力で、みんなが安心して楽しく過ごせる学校を築いていく素晴らしい取組になりました。



1月の主な行事予定

8日（水）	第3学期始業式/校内書き初め大会/冬季校時開始
14日（火）	校内書き初め展（～21日） 避難訓練③ 家庭学習強調週間（～19日）
16日（木）	5限学習参観/P T A新役員選出/P T A教養部会
24日（金）	N R T学力テスト（国・算）
28日（火）	生活朝会 N R T学力テスト（理・社）
30日（木）	低学年スキー教室
31日（金）	降雪期休業①
2/1（土）	のんちゃんスキー大会（A P）
2/2（日）	のんちゃんスキー大会（X C）

【1月の生活目標】

あいさつチャンピオンになろう！

互いに明るくあいさつを交わし、新たな気持ちで元気に新年をスタートできるようにします。

「あいさつチャンピオンになろう週間」（1/9～1/17）や「わたしのあいさつチャンピオン」の取組を通して、元気よく挨拶をしている児童の紹介をしていきます。

（文責 妙高高原南小学校長 湯浅 昭司）